



# キャンパス間鉄道網の変遷

（今後に期待の相鉄・東急直通運転と相鉄線SFC近接駅開業）

義塾のキャンパスは1都1県6キャンパスに及び、従来キャンパス間移動は複数の鉄道を乗り継ぐ必要があったが、近年、相互直通運転の開始などにより、その利便性は格段に向上してきた。今回は、特に1999年以降の交通網の変遷に注目して、その経過を振り返りたい。

## 便利になった

### キャンパス間の移動

#### 日吉―三田キャンパス

2000年に東急目蒲線が多摩川駅を境に目黒線に分割され、目黒駅で都営地下鉄三田線に乗り入れたことにより、日吉駅と三田駅が直通運転で結ばれた。それ以前は、自由が丘・大井町経由、あるいは渋谷経由でJR線の田町駅まで45分以上かかっていたが、現在は最短30分弱で行き来できるようになった。

#### 三田―信濃町キャンパス

2000年4月に医学部のある信濃町キャンパス近くに、都営大江戸線・国立競技場駅が開業し、12月には三田キャンパスの近くに赤羽橋駅が開業したことにより、これまでバ

ス（大江戸線開通により廃止）に乗るかJR線を乗り換えて移動するしかなかったが、乗り換えなしの乗車時間10分弱で結ばれることになった。また赤羽橋駅の隣、大門駅からは徒歩6分で薬学部のある芝共立キャンパスに行ける。

#### 日吉―湘南藤沢キャンパス(SFC)

SFCの最寄り駅は湘南台。小田急江ノ島線に加えて、1999年に相鉄いずみ野線と横浜市営地下鉄（現在のブルーライン）が延伸して乗り入れたことにより、横浜駅経由での日吉、三田キャンパスへのアクセスが向上した。また日吉駅から横浜市営地下鉄グリーンラインとブルーラインを乗り継ぎ、湘南台駅へ移動するルートも2008年にできた。

#### 日吉―慶應義塾志木高等学校

志木高は、国内では唯一大学キャンパスから独立した場所にある高校。2013年に東急東横線が渋谷から東京メトロ副都心線との相互直通運転を開始。同路線は東武東上線とも相互乗り入れをしていたため、日吉駅から乗り換えなしで志木駅まで行けるようになり、日吉キャンパスから志木高まで最短約1時間で結ばれることになった。

## さらに期待される 路線計画

#### 2022年の日吉―SFC

現在、日吉とSFC間の時間が短縮される工事が進行中である。2019年度に相鉄線とJR東海道貨物線が羽沢駅（仮称）で結ばれ、湘南

台駅からJR横須賀線を経由して山手線大崎駅を結ぶ路線が開通する予定。さらにその羽沢駅と東急東横線

の目黒駅を結ぶ工事も、2022年度開通の予定で進行中。順調に進めば、2022年度には湘南台駅と日吉駅が直通となり、さらに目黒線により三田駅まで直通となる可能性が

ある。  
また相鉄いずみ野線をJR相模線の倉見駅まで延伸する計画も徐々に実現性が増してきている。そうするとSFC付近に新駅が開設され、湘南台駅からバスに頼っていたSFCへの移動が鉄道だけで行けるようになる。



信濃町キャンパス最寄りの国立競技場駅地上入口



日吉駅改札前にある「銀玉」(正式名称は「虚球自像」)



日吉駅付近を通る東急線(手前の車体は、三田線とともに目黒線に乗り入れている埼玉高速鉄道)

- 三田キャンパス
- 日吉キャンパス
- 矢上キャンパス
- 信濃町キャンパス
- 湘南藤沢キャンパス
- 芝共立キャンパス
- 志木高等学校